

# Product Data Sheet

## プレミックスタイプ水中空隙充填材

### アクアフィル 30N

海岸・河川工事における水質汚濁防止に画期的な効果を発揮し、なおも工事現場での作業性を大幅に改善できる流動性に優れた製品です。

アクアフィル 30Nのご採用により、環境保全に寄与するとともに、工期の短縮を可能にしトータルコストの節減を図ることができます。



### アクアフィル 30Nの特徴

- 1 特殊添加剤の混合により水中分離性に優れているため、水質汚濁防止に大きな効果を発揮します。
- 2 流動性に優れていますので、従来の製品に比べ格段の長距離圧送性があります。
- 3 既調合品のため現場で、水と特殊添加剤を加えるだけで安定した品質のスラリーが得られます。
- 4 既調合品のため複雑な配合計算の必要がなく、作業工程管理が容易です。

### アクアフィル 30Nの用途

- 海洋廃棄物処理施設の鋼管継手充填材
- 海岸・河川工事用の型枠充填材
- 遮水連壁継手の充填材

## ◆ 標準配合(1m3当り)

アクアフィル 30N(Kg)	清水(Kg)	スラリー比重	強度(N/mm2)
1,200	570	1.8	30

## ◆ 物性(粉体の性状)

成分(重量%)						
SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	MgO	K <sub>2</sub> O	ig-Loss
30~35	6~8	50~55	3~4	1~2	0~1	2~4

成分(重量%)については計算値であり、原料の出荷地により若干の相違があります。

## ◆ 使用方法

1. 混練りにはミキサーを用い、先に所定の清水を入れます。
2. 次に攪拌しながら徐々にアクアフィルSを投入して、均一に練り混ぜて下さい。
3. 3分を目安に練り終えて下さい。
4. 可使用時間は温度などに影響されますが、2時間以内に充填し終わるように練り混ぜて下さい。

## ◆ 荷姿

- ・25Kg袋詰め
- ・特殊荷姿については別途ご相談下さい。

## 「取り扱い注意事項」

<b>施工上の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・練り混ぜ水は水道水などの清水を使用して下さい。</li><li>・混合した材料は2時間以内に使用して下さい。</li><li>・ご使用は換気のよい場所で行い、必要に応じて保護眼鏡・防塵マスク・保護手袋等を着用して下さい。</li><li>・使用後の器具類は直ちに水洗いして下さい。</li></ul>	<b>漏出時の措置</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・飛散した粉末は回収し、また水道水で洗浄した場合は、濃厚な洗浄水が河川などに流出しないように中和処理をしてから排水を行って下さい。</li></ul>
<b>保管上の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・製品は3ヶ月以内に使用して下さい。</li></ul>	<b>応急時の措置</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■目に入った場合<ul style="list-style-type: none"><li>・速やかに清浄な水で十分洗眼した後、医療処置を受けて下さい。</li></ul></li><li>■皮膚に付着した場合<ul style="list-style-type: none"><li>・速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受けて下さい。</li></ul></li><li>■吸入した場合<ul style="list-style-type: none"><li>・速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水または温水でうがいをさせ、医療処置を受けて下さい。</li></ul></li><li>■飲み込んだ場合<ul style="list-style-type: none"><li>・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ吐き出させた後、直ちに医療処置を受けて下さい。</li></ul></li></ul>
<b>廃棄上の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理を行って下さい。</li><li>・廃棄物の処理やミキサー等の洗浄水の排水は水質汚濁防止法等の関連法に適合するように十分注意して下さい。</li></ul>	

## 製造・販売元

### 三協マテリアル株式会社

〒810-0004

福岡県福岡市中央区渡辺通4-2-25 福光ビル2F

TEL 092-736-6614 FAX 092-736-6624

<http://www.sankyo-m.jp>